

## 第2回小規模企業振興検討小委員会 議事要旨

日時：平成29年8月3日（木）14：00～

場所：県庁舎本館7階71会議室

### 【商品開発、新商品・サービス開発について】

(A委員)

- ・商品開発に色々に関心があるが、人手不足で注力が難しい。
- ・最近、持続化補助金に申請し、自店舗の飲食メニューを多言語翻訳するスマホアプリ対応にする計画が承認された。英語は話せないが英語教室に頼んで翻訳してもらうなどで進めている。

(B委員)

- ・建設業だが、確かに営業はできていない。優秀な人材に頼ることができれば助かる面が色々あると思う。
- ・クリエイティブ人材については、デザインなど色々ニーズはあると思う。どういうクリエイティブ人材に相談できるのかが分かるようにしてもらえれば。

(C委員)

- ・若い人のお茶離れは感じており、厳しい状況。そんな中、オリジナルの湯呑みを作れる体験メニューを提供するようになり、反響もかなりある。

(事務局)

- ・県では商店街の観光化を推進している。インバウンドにも対応する取組を支援するなど。
- ・別府ではインバウンドを対象に、体験型のツアーをマッチングするサービスを提供する企業がある。そうしたツアーの中に、お茶体験を入れてもらえば。

(D委員)

- ・ガソリンスタンドは、ガソリンだけでは厳しい。女性の目線でサービスを充実させることを検討している。

(E委員)

- ・国のものづくり補助金は、県内累計で500社が受給し補助金額は50億円にも達しているが、導入した設備で作る新製品をどう売っていくか、これからの大きな課題。

### 【経営マネジメントについて】

(F委員)

- ・元金には手をつけず、利息だけでやりくりするような経営をしたいところ。

(G委員)

- ・経理は税理士に見てもらっている。昔から細く長く事業を続けられればという経営方針なので、事業拡大等による新たな借金は厳しい。

### 【人材確保について】

(H委員)

- ・飲食店では、安定した社員の確保は難しい。独立等の夢がなければ続かない人が大半。
- ・同業者の人材バンクを中津で立ち上げた。ハローワークはなかなか使っていないが、人材

側が雇用先を求める仕組み（求人逆パターン）があれば面白いのでは。

（I 委員）

- ・人は足りない。建設業は労働環境が悪いため人が集まらない。環境改善に対する支援があればと思う。

（J 委員）

- ・家族経営のため、数年後は厳しくなる。独自のブレンドのお茶が作れば良いが、力仕事になるので難しい。

（K 委員）

- ・若い人が確保できない。特に技術者が不足している。

### 【事業承継について】

（L 委員）

- ・自身が承継を受けた際は、金融機関にサポートしてもらった。専門機関同士の連携が必要。

### 【商工団体の機能強化について】

（M 委員）

- ・職員間の情報共有ができていない面がある気がする。助成金の情報等、県や他機関として連携して情報共有してもらいたい。

（N 委員）

- ・頑張っている指導員への評価は必ずして欲しい。

（O 委員）

- ・商工会はQRコードで翻訳するアプリへの対応の取組など、色々頑張ってくれている。
- ・ただ、市と観光協会と商工会の役割分担が分かりにくい。

### 【条例改正案について】

（P 委員）

- ・県産品消費拡大運動を商工3団体が提唱しているところ。条例にもその趣旨を入れてもらえば。

（Q 委員）

- ・人材確保・育成に関する部分で、教育機関・学校の役割の記述があればいいと思う。

### 【その他】※事前説明した際の意見

（R 委員、S 委員）

- ・県の新しい政策について、この改正を機に追加するのが良いのでは？  
→今回は小規模企業振興の小委員会のため、小規模振興施策以外の改正については、推進委員会において提案させて頂く予定。